

## 鳥取県立大山自然歴史館指定管理施設運営評価委員会評価報告書

指定管理業務点検要領に基づき、鳥取県立大山自然歴史館指定管理施設運営評価委員会として、以下のとおり指定管理者による鳥取県立大山自然歴史館の管理運営状況について、中間年度までの実績をもとに評価を行った。

### 1 対象施設

鳥取県立大山自然歴史館

### 2 指定管理者

一般社団法人大山観光局（西伯郡大山町大山40-33）

### 3 指定管理期間

平成24年4月1日から平成29年3月31日まで（5年間）

### 4 評価委員会

(1) 開催日 平成27年12月21日

(2) 開催場所 鳥取県立大山自然歴史館

(3) 評価委員

氏名	所属等
香川 正博（委員長）	香川税理士事務所所長（税理士）
伊澤 百子（副委員長）	大山町教育委員会委員長
永井 猛	米子工業高等専門学校名誉教授
平松 喜美子	元鳥取大学医学部保健学科教授

(4) 評価方法

指定管理に関する事業計画書、平成24年度から26年度までの指定管理者から提出された事業報告書及び各年度の県による評価結果、館内視察等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、4人の委員の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
施設設備の維持管理・緊急時の対応	○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応
施設の利用の許可、利用料の徴収等	○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令
その他管理施設の管理に必要な業務	○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作
利用者サービス	○会館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応
収入支出の状況	○経営状況

職員の配置	○日常の職員配置
会計事務の状況	○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書（月次）における内部検査結果 ○必要な規程類の整備
関係法令の遵守状況	○関係法令に係る行政指導等の有無等
県の施策への協力	○障がい者就労施設への発注

《評価指標》

2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。

1：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。

0：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

△1：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。

△2：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。

(5) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による鳥取県立大山自然歴史館の管理運営状況の評価は以下のとおりであり、委員協議の結果、総括評価は「0」と決定した。

審査項目	評価（4人の委員の平均）
施設設備の維持管理・緊急時の対応	0.5
施設の利用の許可、利用料の徴収等	0
その他管理施設の管理に必要な業務	0
利用者サービス	0.25
収入支出の状況	0.25
職員の配置	0
会計事務の状況	0
関係法令の遵守状況	0
県の施策への協力	0.25
総括	0.25

イ 評価委員からの主な意見

[施設設備の維持管理・緊急時の対応]

- ・良く管理をされており、館内もきれいである。
- ・事故対応について、マニュアル作成もしており対応されているが、引き続き、救急研修（AED研修含む）も受けてもらいたい。
- ・イベント時の救急処置及び救急研修に特段の配慮をしてほしい。

[施設の利用の許可、利用料の徴収等] [その他管理施設の管理に必要な業務]

・特に意見なし

[利用者サービス]

- ・新しい企画・展示に努力されている。
- ・観察会等での解説をスピーカーを使う、個別に行うなど、工夫をしてほしい。
- ・予約した来館者だけでなく、ここを訪れた来館者にも館内説明等をしてもらえれば、展示がもっと身近なもの、魅力的に感じると思う。
- ・5月～11月の気候のいい時期なのに利用者数が減っているのが気になる。天候の原因もあるだろうが、どうしたらここに来てもらえるのか、いい施設だとわかってもらえるのか、検討してもらいたい。
- ・歴史館をアピールするために、様々な施策をしていると思うが、今後、どういったことをしていくのか、展開していくのが課題。継続的に集客をお願いしたい。
- ・来館者を増加させる工夫が必要。
- ・事業は良く取り組んでいるが、マンネリ化しているところもある。
- ・施設の利用促進について、今後は何か検討しなければ、持ち腐れとなってしまう危険性がある。
- ・大山観光局との関係性を明確にすること。

[収入支出の状況]

・(3年間で) 1000万円程度の繰り越しがあるのはいかなものかと思う。お金を使った事業をやったほうが良いと思う。

[職員の配置]

- ・少人数による配置でも的確に行われている。
- ・大山町をPRしたいボランティアはたくさんいる。予算化するのは難しいとは思っているので、そういった方々の活用を検討してほしい。(養成も検討してほしい)

[会計事務の状況] 及び [関係法令の遵守状況]

・特に意見なし

[県の施策への協力] (障がい者就労施設への発注)

・チラシ作成など、業務の中でそういった施設へ(業務内容が)合うかどうか日頃から注意をしていただき、発注していただきたい。

[その他]

・多くの事業に当たって、大山観光局と歴史館が同一目標を有している中で、負担の按分方法が採用できる方策の検討が望ましい。観光局事業との協同的実施の検討。